

別紙標準様式（第7条関係）

△ 議 録

会 議 の 名 称	令和2年度 第1回枚方市病院事業運営審議委員会
開 催 日 時	令和2年6月8日（月） 14時30分から 15時40分まで
開 催 場 所	市立ひらかた病院 2階 講堂
出 席 者	委員：上野委員・鍛冶谷委員・田口委員・松岡委員・奥野委員・ 藤本委員・北川委員 病院：宮垣病院事業管理者・林病院長・木下副院長・後藤副院長・ 赤塚副院長・白石副院長兼看護局長・岡市事務局長 他
欠 席 者	なし
案 件 名	1. 正副委員長の互選 2. 令和元年度の業務状況及び令和2年度の取り組み姿勢について 3. 新型コロナウイルス感染症への対応及びその影響について 4. その他
提出された資料等の 名 称	・令和元年度の業務状況及び令和2年度の取り組み姿勢について ・新型コロナウイルス感染症への対応及びその影響について
決 定 事 項 等	・病院事業運営審議委員会について公開することに決定した。 ・正副委員長を互選により決定した。
会議の公開、非公開の 別及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表 の別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者	—
所管部署（事務局）	市立ひらかた病院 事務局 経営企画課

審 議 内 容

○岡市事務局長

開会に先立ちまして、本委員会でのマスクの着用について申し上げます。この委員会での発言については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスク着用のままで行っていただければと考えておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。

本日は、令和2年度第1回 枚方市病院事業 運営審議委員会を開催させていただきましたところ、委員の皆様には公私何かご多用の中、ご出席賜りまして誠にありがとうございます。

本日は、今年度、最初の委員会となりますので、臨時委員長を選出いただくまでの間、私、事務局長の岡市が、司会・進行を務めさせていただきます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

まず始めに、病院事業管理者よりごあいさつを申し上げます。

○宮垣病院事業管理者

本日は公私ご多忙の中、本年度第1回目の病院事業運営審議委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

この度、4月1日付けで病院事業管理者に就任しました宮垣でございます。よろしくお願いいたします。

本日お集まりの委員の皆様には、この間の新型コロナウイルス感染症対応をはじめ、多大なご支援、ご協力をいただきまして、この場をお借りいたしまして、あらためて御礼を申し上げます。

本院は、北河内唯一の市立病院として地域に根差した質の高い医療を提供し、信頼される病院づくりと地域医療の充実に努めているところでございます。

今般の新型コロナウイルス感染症については、受入病床の拡大など、医療体制の確保に取り組み、北河内唯一の感染症指定医療機関としての責務を果たすべく、全力で取り組んでいるところでございます。こうした我々の取り組みに対しまして、市民の皆様から励ましのお手紙をいただいたり、また、事業者の皆様を含め、不足するマスク等の医療材料をはじめ、多くのご寄付をいただくと共に、心温まるご支援に職員一同大いに勇気づけられると共に、この難局を乗り越えるべく、心を一つにしているところでございます。

一方で、この新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う受診控え等により患者数が減少し、病院経営に大きな影響を与えており、今後も少なからず影響が続くことが懸念されております。

このように病院を取り巻く状況は困難を極めておりますが、本日、委員の皆様には、忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げますと共に、一刻も早い終息を祈念いたしまして、開会にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。

<p>○岡市事務局長</p>	<p>続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。 誠に恐縮に存じますが、敬称を省略させていただき、 議席順にてご紹介申し上げます。 田口 敬規 委員でございます。 松岡 ちひろ 委員でございます。 奥野 美佳 委員でございます。 鍛冶谷 知宏 委員でございます。 上野 尚子 委員でございます。 藤本 良知 委員でございます。 北川 敏夫 委員でございます。 以上で、委員のご紹介を終わらせていただきます。</p>
<p>○岡市事務局長</p>	<p>続きまして、本日出席しております職員を順次紹介させていただきます。</p> <p>[職員紹介]</p>
<p>○岡市事務局長</p>	<p>それでは、臨時委員長の選出に移らせていただきます。これより着座にて失礼いたします。</p> <p>本日は、今年度、最初の会議でありますので、委員長が選出されるまでの間、議会選出委員のうち年長の委員に臨時委員長の職務を行っていただきたいと存じますが、いかがでしょうか。</p> <p>&lt;「異議なし」の声 &gt;</p> <p>ご異議がないようですので、本日出席の議会選出委員中、上野委員が年長委員でございますので、上野委員に臨時委員長をお願いいたします。</p>
<p>○上野臨時委員長</p>	<p>ただいま、年長委員の故をもってご指名いただきました上野でございます。委員長が選出されるまでの間、臨時に私が委員長の職務を行います。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。</p> <p>会議に先立ちまして、事務局から委員の出席状況について、報告を求めます。</p> <p>岡市事務局長。</p>
<p>○岡市事務局長</p>	<p>委員の出席状況をご報告いたします。本日、ただいまの出席委員は、7名でございます。以上で報告を終わります。</p>
<p>○上野臨時委員長</p>	<p>ただいま報告がありましたとおり、出席委員は定足数に達して</p>

<p>○小篠経営企画課長</p>	<p>いますので、これより令和2年度第1回枚方市病院事業運営審議委員会を開会します。</p> <p>それではまず、本会議の公開・非公開の取り扱いについてお諮りします。事務局から説明をお願いします。</p> <p>本委員会は、「枚方市審議会等の会議の公開等に関する規程」における、非公開とできる事項のいずれにも該当しないことから、事務局としましては、公開とさせていただきたいと考えております。</p>
<p>○上野臨時委員長</p>	<p>事務局からの説明のとおり、公開とさせていただいてよろしいですか。</p> <p>&lt;「異議なし」の声&gt;</p>
<p>○上野臨時委員長</p>	<p>それでは、本委員会は公開とさせていただきます。本日、傍聴希望者はいらっしゃいますか。</p>
<p>○小篠経営企画課長</p>	<p>本日、傍聴希望者はいらっしゃいません。</p>
<p>○上野臨時委員長</p>	<p>それでは、これより案件第1「正副委員長の互選」に入りますが、委員長の選考・選出方法等について、ご意見をお聞かせ願いたいと思います。何かご意見等はございませんか。</p>
<p>○田口委員</p>	<p>委員長を上野委員にお願いしてはどうかと思います。</p>
<p>○上野臨時委員長</p>	<p>ただいま、「委員長を上野に」というご意見がありましたが、これにご異議ありませんか。</p> <p>&lt;「異議なし」の声&gt;</p>
<p>○上野臨時委員長</p>	<p>ご異議なしと認めます。</p> <p>よって、上野委員が委員長に選任されました。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>(暫時休憩)</p>
<p>○上野委員長</p>	<p>委員会を再開します。</p> <p>これより「副委員長の互選」を行います。</p> <p>お諮りします。</p> <p>互選の方法は、指名推選によりたいと思います。</p>

<p>○上野委員長</p>	<p>これにご異議ありませんか。</p> <p>&lt;「異議なし」の声&gt;</p> <p>ご異議なしと認めます。 よって、互選の方法は、指名推選によることに決しました。 これより指名推選を行います。 お諮りします。指名推選の指名者は、委員長にしたいと思いま す。これにご異議ありませんか。</p>
<p>○上野委員長</p>	<p>&lt;「異議なし」の声&gt;</p> <p>ご異議なしと認めます。 よって、指名推選の指名者は、委員長によることに決しました。 副委員長の指名を行います。 副委員長に鍛冶谷知宏委員を指名します。 お諮りします。 ただいま、委員長において指名しました鍛冶谷委員を副委員長 に選任することにご異議ありませんか。</p>
<p>○上野委員長</p>	<p>&lt;「異議なし」の声&gt;</p> <p>ご異議なしと認めます。 よって、ただいま指名しました鍛冶谷委員が副委員長に選任さ れました。 それでは、正副委員長の就任に当たりまして、代表して一言ご あいさつを申し上げます。 委員の皆さんのご推挙により、ただいま、委員長に選出いた きました上野でございます。 今年度の枚方市病院事業運営審議委員会の運営を担当させて いただく機会をいただき、光栄に思っています。 鍛冶谷副委員長とも協力しまして、円滑な委員会運営に努めて まいりたいと考えておりますので、委員の皆様、病院関係職員 の皆様のご協力をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。 簡単ではございますが、就任のあいさつとさせていただきます す。ありがとうございました。 これより、案件第2「令和元年度の業務状況及び令和2年度の 取り組み姿勢について」及び案件第3「新型コロナウイルス感 染症への対応及びその影響について」は、事務局より関連性が ある内容であることから一括して説明したいとの申し出があり</p>

○山本経営管理室長

ましたので、一括議題とします。なお、本日の会議については、1時間程度と考えておりますのでよろしくお願いいたします。

それでは、事務局より説明を求めます。山本経営管理室長。

それでは、案件第2「令和元年度の業務状況及び令和2年度の取り組み姿勢」また、案件第3「新型コロナウイルス感染症への対応及びその影響について」を一括してご説明いたします。

令和元年度の業務状況ですが、ひらかた病院では更なる経営改善を図るため、収支向上に向けて目標に向けて取り組んでまいりました。一番大きな目標として病床利用率85%を達成することを目標に掲げまして、そのために信頼される病院として医療の充実、また、選ばれる病院として地域に根差した病院という、2本柱でこの間取り組んでまいりました。

まず、信頼される病院については、手術件数の増ということで、消化器センターを昨年4月に稼働させ、地域診療所へのPRを行い、また、午前中の手術の推進にも取り組んでまいりました。

また、積極的な救急搬送患者の受入ということで、本院では「断らない医療」をスローガンに掲げて、なるべく多くの患者さんを受け入れていくことに取り組んでまいりました。また、消防組合との意見交換等も行ってきたところです。

また、検査・検診の充実ということで、がん・C型肝炎の早期発見ということで、「見落としゼロキャンペーン」で早期に発見することが重症化を防ぐということで、こうした取り組みを行ってきたところです。

続きまして、選ばれる病院については、地域連携の推進ということで、紹介率、逆紹介率の目標を掲げまして、地域診療所への積極訪問、積極的な逆紹介の徹底、連携室のチェックの強化等に取り組んでまいりました。また情報発信の強化として、地域の診療所からも選んでいただけるように、ホームページの充実等の情報発信の強化を行ってきたところです。

また、平成30年度から外部の経営コンサルタントを導入しました。昨年度は、各診療科とミーティングを行い、診療科ごとの基準ベッド数を設定し、その達成に向けた議論を行うことで、各診療科に意識を持っていただくよう取り組みました。その他、紹介率の向上の取り組みや新たな施設基準や加算の獲得に向けての助言をいただき、1年間取り組んでまいりました。

このような効果も含めた業務実績ですが、手術件数については、概ね前年を上回っておりまして、月平均の手術件数が21件の増、手術の収益は約800万円の増という結果が出ております。

次に、断らない医療ということで、救急の件数に対して受け入れた率を応需率としていますが、前年とほぼ同様となっております。

ます。ただし、平成 28 年度は、応需率が 68.3%と非常に低いものでしたので、この間様々な取り組みを行いまして、平成 30 年度には 88.7%と最高の水準となり、昨年度も一定の水準を維持できたものと考えておりますが、90%に向けて更なる取り組みを行っていく必要があると考えております。

次に外来患者数及び外来収益の状況ですが、概ね昨年度を上回っているものと考えております。平成 30 年度と令和元年度を比較して 1 日平均患者数で 14.4 人の増、月平均の外来収益も約 1,600 万円の増となっておりますが、今年の 3 月から大きく下がっているのは、後ほど説明しますが、新型コロナの影響が大きいと考えております。

次に大きな目標として掲げてまいりました病床利用率については、令和元年度の病床利用率が 78.6%となり、前年度比で 0.6 ポイントの増となりました。令和元年 1 月までは 79.7%となっておりますが、新型コロナによる落ち込みがございまして、トータルで 80%近くになったものと思っておりますが、ただ目標の 85%を考えますと、まだまだという状況です。入院収益についても、1 月までなら前年比で約 2,500 万円の増となっておりますが、コロナの影響により増加幅が縮小してしまった状況です。

次に令和 2 年度の取り組み姿勢について説明させていただきます。

まず、4 月、5 月は、病院一体となってコロナ対策に注力してまいりました。6 月以降も第 2 波が予測され、終息していませんので、当面の対応を行ってまいります。しかしながら患者さんも離れてしまっている状況で、6 月以降はコロナ発生前の水準に戻す努力が必要であり、新たな目標の設定を行い、更なる経営改善への取り組みを行う考えです。

まず継続的な取り組みとして、令和元年度も行ってまいりました地域連携の強化、救急の受入強化、手術件数の増という取り組みを引き続き行う必要があると考えております。

また令和 2 年度の新たな取り組みとして、下肢機能再建センターをオープンする予定をしております。関節の痛みなどによって、仕事や日常生活に支障をきたしている方が、元気に歩ける、イキイキとした暮らしを取り戻すため、股関節の手術を主軸とした専門的な医療を提供していきたいと考えております。新型コロナの影響で本来なら 4 月にオープンを予定していましたが、7 月からオープンしてまいります。今後は、積極的な PR を行い、地域の診療所等にもアピールしていきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

続きまして、案件 3 の新型コロナウイルス感染症への対応状況及びその影響について説明させていただきます。

大阪府における新型コロナウイルス感染症の状況については、大阪府では令和2年1月29日に府内で初の陽性患者を確認しております。2月5日に帰国者接触者センターを設置されました。4月1日に大阪府は各医療機関に受入病床の拡大を要請しております。4月7日に大阪府にも緊急事態宣言が発令されました。4月9日に92人という一番多数の感染者を確認しました。ここから徐々に下がってまいりまして、5月21日に大阪府の緊急事態宣言が解除されるという流れでございました。

この間、本院では、1月23日に看護局でシュミレーション訓練を行い、体制の確立を行っております。その後は大阪府や保健所と連携し、適宜、必要な対応を行ってまいりました。ただし、様々な影響が出ております。

まず、感染症に対応するため、一部の一般病床を閉鎖、縮小せざるを得ませんでした。

次に、感染の危険から実施しないとガイドラインに示されたことで停止せざるを得ない手術や処置があり、また、手術用のガウンや手袋が不足していたため、制限せざるを得ない手術や処置もございました。

次に、各種健康診断や人間ドック等の停止を行いました。

また、医療連携・相談室による地域の診療所への訪問活動もできる状況にございました。

最後に、下肢機能再建センターのオープンを4月から7月に延期せざるを得ませんでした。これ以外にも患者さんのキャンセル等様々な影響がございました。

浮かび上がった課題としては、まず、病院経営が悪化としまして、患者数の減少、受診控え、手術等の制限、健診の中止等により、現在も病院経営が非常に厳しい状況にあります。

次に、様々な感染防止対策が必要ということです。本院は感染症指定医療機関であり、感染専門の外来があつて、感染専用のエレベーターがあり、一般の患者さんとは完全にセパレートして、そのまま感染病床の方に運ばれる設備を持っています。しかしながら、こういう状況ですと一般の患者さんや面会者でも感染している可能性がありますので、様々な感染防止対策を講じなければならない状況でした。

次に、職員の精神的、肉体的な負担ということで、ハードな業務量はもとよりですが、感染リスクもあり、常に強度の緊張感を強いられる状況が続きました。

また、衛生材料の不足ということで、ガウン、マスク、フェイスシールド、手袋等の多くの衛生材料が、いつ入荷するかわからないため、職員皆で節約して使う状況がありました。

次に浮かび上がった課題についての状況を説明させていただきます



きます。

患者数の減少についてですが、入院患者の状況の表で説明をさせていただきます。平成31年と令和2年の2月中旬から5月中旬までの推移を比較しております。入院患者数は2月中旬から急落しており、4月7日の緊急事態宣言から更に落ち込んでおります。現在も落ち込みに歯止めがかかっておらず、低い数字で推移しております。

外来患者数についても同様の状況で、2月中旬から一気に落ち込んでいる状況です。

次に収益と業績の状況について、まず、入院について12月から今年の4月までの5か月間の推移を表したものです。毎年のことですが、2月、3月で病床利用率が跳ね上がる傾向が見られます。昨年度は元々高い病床利用率でありましたが、2月になっても上がらず、3月、4月に更に下がるという状況でした。

病床利用率については、前年同月比の前年4月比で、21.6ポイントのマイナスで、コロナ前の当年1月比で17.3ポイントのマイナスとなっております。

入院収益については、前年同月比の前年4月比で約1億700万円で24.1ポイントのマイナス、当年1月比で約1億4,000万円の30ポイントのマイナスという状況です。

外来収益についても同様に数字を落としております。

当年4月が11,561人で、前年4月比で32.1ポイントのマイナスとなっております。

また収益についても大きく下がっており、前年4月比で19.0ポイントのマイナス、当年1月比で26.2ポイントのマイナスとなっております。

入院・外来の収益の合計で比較すると、前年4月で約6億4,000万円、当年1月で約7億400万円あったものが、当年4月は約5億円となり、非常に厳しいものとなっておりますが、5月も同様の数字になってくると見込まれます。

続きまして感染防止の取り組みということで、先ほど申し上げたとおり、一般の方からの感染についてもリスク管理をしないといけないということがあります。出入口の検温及び発熱外来を設置しまして、検温を行い、発熱があれば、一般の患者とは別ルートで発熱外来に回っていただき、感染防止に取り組みました。先週からは新たにサーモグラフィーによる検温を導入し、精度の高い検温と職員の負担軽減になると考えております。

その他、面会の禁止を行ったり、受付ではビニールシートで飛沫感染を予防しました。職員についても、勤務前の検温や手洗いの徹底、3密を避ける等を周知して、感染防止に取り組んでまいりました。

	<p>続きまして、職員のメンタルヘルス支援チームの立ち上げについてです。チームは衛生委員会の作業部会として設置しております。メンバーとしては、精神科医を含む産業医、臨床心理士、看護師、事務職員、医療技術員で構成され、本院のメンタルヘルスに取り組もうということで組織を立ち上げました。活動としては、相談窓口の設置、ストレスチェックを行い、機関紙を発行することを行っております。</p> <p>続きまして、衛生材料等の不足への対応については、院内に物品管理委員会を設置し、新型コロナ関係物品の一括管理を行うようにしました。また、不足するビニールガウンについては、職員が作成し、それでも不足しましたので、教育委員会や上下水道局の職員により約4万枚を作成いただいております。</p> <p>また、病院への支援としては、冒頭のあいさつでもありましたが、多くの温かい声や寄付という支援をいただき、非常に感謝しているところです。</p> <p>最後に、本院は現時点まで院内感染を起こすことなく、ここまでやって来ています。引き続き、新型コロナに対応しつつも、経営的には非常に厳しい状況であるので、6月から段階的に通常の診療体制に戻して、元気なひらかた病院として1年間やっていきたいと考えております。</p>
○上野委員長	<p>これより、ご質問・ご意見をお受けします。 ご質問・ご意見はありませんか。 奥野委員。</p>
○奥野委員	<p>まず、地域連携の推進について、紹介率65%、逆紹介率70%を目標とされていますが、令和元年度の実績を伺います。</p> <p>次に、経営について4月の収益の話がありましたが、令和元年度の決算がどのような感じかをお伺いします。</p> <p>4月の収益がかなり下がっているとのことで、5月、6月も厳しいものと思います。病院の経営は新型コロナの影響で、外来の患者さんが減っており、予定していた手術を取り止めるという中で、繰入金金の抑制ということで、令和2年度に5,000万円の削減を目標としてあげられています。ただ、感染症の部分に関しては、支援ということで繰り入れを足してもらわなければならない状況ではないかと思えます。市の方には、予算で計上しているが、実施できない等の現状の訴えを行っていただきながら、病院の経営が逼迫しないようにしていただきたいと思えます。</p> <p>発熱外来については、今後、秋、冬になった時にインフルエンザや風邪等により、状況が厳しくなってくると思われれます。感</p>

	<p>染症の関係をひらかた病院だけで受け入れできなくなってきた、地域の他の医療機関で発熱外来を増やすのか、それぞれの医療機関でトリアージの形をするのか等、これから秋、冬に向けてどのような感じになるのか、今の時点で、ひらかた病院で考えておられることがあれば、お伺いしたいと思います。</p>
<p>○松村医療相談・連携室課長</p>	<p>紹介率、逆紹介率について、令和元年度の紹介率は54%、逆紹介率は78.7%となっております。参考として上半期と下半期で比較して申し上げますと、紹介率は51.8%から56.8%となり、5ポイント向上しております。また、逆紹介率は71.5%から88.0%となり、16.5ポイント向上している状況です。</p>
<p>○小篠経営企画課長</p>	<p>令和元年度の決算状況ですが、令和2年度の予算編成時に見込んでいた数値、約2,244万円の欠損となっております。決算整理した数字については、改めてご報告をさせていただきたいと思いますが、ここから大きく変わることはない、と考えております。先ほど資料でご覧いただきましたとおり、3月の収益のグラフはそんなに下がっておりませんが、4月はかなり下がっておりますので、令和2年度からはかなりの影響が出てくるものと考えております。</p>
<p>○岡市事務局長</p>	<p>5,000万円の繰入金の抑制についてですが、これは病院の方から当初予算を決める段階で申し上げたものですが、新型コロナ感染症は発生していない段階で、だいぶ収益的に良くなっているところでもございました。そこから状況は全く変わってしまいました。我々病院だけで決めることはできませんが、市と改めて話をする必要があると考えております。</p>
<p>○林病院長</p>	<p>発熱外来の件ですが、当院は元々感染症病床ということで、年に何回も新型インフルエンザの受け入れや、シュミレーションについて訓練しており、感染症という意味では、専門家であるという認識を持っております。例えば当院玄関で発熱者を見つけて、院内に入れないように院外を通過して、各種検査を行って、そのまま感染症の病棟へ上がっていただくとか、あるいは、発熱外来用の紹介で受診される方も速やかに紹介状を把握して、専門の診療科の外来で受診していただくことができます。その時も一般の方と動線が交わらない形にすることは、今回のコロナ感染症のことでかなり完成形に近づきつつあると思います。今後、第2波、第3波のコロナ感染症やインフルエンザに関しては、ある程度経験ができましたので、今まで以上に慎重にかつ冷静に対応できるのではないかと思います。</p>

	<p>今後、本院だけで発熱患者を診ることは不可能でありますので、市の医師会と協力させていただきまして、クリニックでもPCR 検査等に関して、裾野が広がってきましたので、患者さん自体は今までより軽減される状況で、枚方市全体で発熱患者さんに対応していけるのではないかと考えております。</p>
○上野委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 藤本委員。</p>
○藤本委員	<p>医師会として PCR の外来をやらなければならないのではないかということについてですが、大阪府下においても医師会が主体となって、大阪市はやっているのですが、枚方市の医師会でやろうとした時に、防護服が無く、マスクすらありませんでした。手に入る物は遅れて入ってきましたので、やろうとした時は、コロナが大分終息しかけつつある状況でした。今は、やっていない状況で、これをやっていただく先生方に感染させるといけないので、二の足を踏んでいる状況です。ただ、第2波が来た時には、ひらかた病院や保健所と連携して、どのように上手く対策できるのかと考えていこうと思いますので、ご協力いただきたいと思います。</p> <p>財政的なことは、コロナの受け入れをしている病院は、8割方が赤字と聞いており、受け入れていない所でも6割が赤字と聞いています。おそらく保険収入は2か月遅れで入って来ますので、3月までの説明でしたが、これから更に厳しい状況になると考えます。このままで第2波が来た時に、どのように財政的に持ち直していくかは、課題であると思います。枚方だけでなく、どこの市もそうですが、いろいろな対策を講じていく必要があると思いますので、そのあたり、議員の皆様もよろしくお願ひしたいと思います。</p>
○上野委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 松岡委員。</p>
○松岡委員	<p>まず、2018年に資本金の減額をされていますが、その影響が有るのか、無いのか、また有るのであればどういった影響かお伺いします。</p> <p>次に、感染症の病床数が8床と聞いておりますが、資料によると、4月1日に受入病床の拡大とありますが、その時に増やしているのか。この8床はどのくらい前からのものなのか、伺います。</p> <p>次に、減収、減益との説明でしたが、大阪府からの支援が来る</p>

<p>○小篠経営企画課長</p>	<p>ようなことはあったのでしょうか、伺います。</p> <p>次に、社会福祉施設で、いわゆる職員離れが問題となっているのですが、ひらかた病院はどうであったのか、現状を伺います。また、メンタルヘルスの相談活動をされていたと聞きますが、その相談件数を伺います。</p> <p>最後に、教育委員会等より防護服の作成に支援があったとのことですが、何名くらいによるものかを伺います。</p> <p>減資の件について、ご説明します。</p> <p>当時行っていた会計手法は、資本金に繰入金を計上し、政策的医療で生じた赤字をそのまま計上し、それを累積欠損としてずっと計上しておりました。そのため多額の資本金がありながら、多額の累積欠損があるという分かりにくい状況でした。そこで資本と欠損を相殺し、より本院の経営状況がわかるように、減資を行いました。その結果、平成31年度は800万円の累積欠損となりましたが、この影響としては、繰り入れの計算にも影響がありますが、一番は本院の経営状況が明確にわかるようになったということでございます。</p>
<p>○山本経営管理室長</p>	<p>いつから本院の感染病床数が8床になったかについては、旧病院の市民病院の時からでございます。今、正確なことは申し上げられませんが、旧病院から8床ございました。この間、コロナ対応により、3月30日に10床として2床を増やしております。また、大阪府からの要請も有り、需要もございましたので、4月7日には20床とさせていただいております。</p>
<p>○岡市事務局長</p>	<p>いわゆる職員離れの件についてですが、看護師の採用を行っております。これが原因と掴んでいないのですが、応募が半分くらいであり、影響が出ているのかと思います。職員のメンタルヘルスについては、コロナが一旦終息したこの時期にストレスチェックというアンケートの形で行っている最中であり、これから結果が出る状況でございます。</p>
<p>○小篠経営企画課長</p>	<p>国の間接補助になりますが、大阪府から例年、感染症指定医療機関運営事業補助金がございます。この他に新型コロナウイルス感染症の関係では、人工呼吸器、HEPAフィルター付きの空気清浄器、HEPAフィルター付きのパーテーションなどの医療機器の購入に補助金をいただいております。</p> <p>今年度に入りまして、簡易陰圧装置、個人防護服などが示されておりますので、今後交付申請をしていくようになっております。今後、国から報道されておりますが、2次補正の中に、医</p>

	<p>療従事者への慰労金、空床補償等のメニューが示されており ます。詳細については、国の通知を待っておりますが、通知があ った際は的確に交付申請をしまいたいと考えております。 その他、国や大阪府からマスク、フェイスシールド、ガウン等 の物資も直接、提供を受けております。</p>
○乾口総務課長	<p>ビニールガウン作成の人数につきましては、把握しておりませ んが、いただいたガウン 4 万枚中、教育委員会の方から約 3 万 枚を作成頂いております。</p>
○松岡委員	<p>大阪府からの支援について、割と物資的な支援の説明がありま した。病床の稼働状況も下がっていると思いますが、そこに対 する支援はなかったのか、お伺いします。</p>
○小篠経営企画課長	<p>例年ございます感染症指定医療機関運営事業補助金について は、これは元々、感染症で入院される方が少ないことがありま して、ランニングコストについて基本的に補助がございます。 今回は新型コロナウイルスに対応するという事で、空床とい うよりも、まず昨年度は機器購入の補助金ということであり、 空床に対するものは、今後ということになってくると思います。</p>
○上野委員長	<p>他にご質問・ご意見はありませんか。 鍛冶谷委員。</p>
○鍛冶谷委員	<p>コロナウイルスの関係で浮かび上がった課題について、どのよ うに解決されるかお伺いします。 例えば衛生材料等の不足について、今後どのような考えがある のか、伺います。 次に、職員の負担が大きいとのことですが、今後どのようなケ アや職員体制について、考えておられるのかお伺いします。</p>
○小篠経営企画課長	<p>衛生材料については、コロナ感染症以前の状態のように入荷し てくる状況にないことは確かです。そういった中、院内の使用 量についての無駄をなくすようにし、例えば、N95 マスクは、 極力永く使えるような工夫をしております。今後、なかなか入 って来ない物資については、買える時にできるだけ買いますが、 大きな物によっては、入るスペースのこともあり、様々な 工夫をして備えていきたいと考えております。</p>
○白石副院長兼看護局 長	<p>今回、手術物資が枯渇しましたので、大分手術を止める対応を いたしました。今後、第 2 波が来た時に備えて、手術物資につ</p>

	<p>いては、現在、約1か月分を倉庫に備蓄しております。総務課、経営企画課、医事課を含めまして、データを見ながら対応しております。</p> <p>また、人員については、第1波の際には、20床の内、人工呼吸器の重症患者も最大で6名程出たと思います。その時は、重症患者を受け入れる病院が、受け入れできる体制でなかったため、6西病棟を一旦閉鎖して対応させていただきました。新型コロナウイルスに関しては、専門知識がないと看護できない状況でありましたので、基本的に専門職、呼吸器を診れる看護師を専門病棟にプラス配置して、重症患者の対応をさせていただきました。</p> <p>コロナに関しては、専門知識を持った医師が、経験を積んで、ある程度の経験に基づいた診療ができる体制を築くために、専門の医師を指定して、チーム制で対応しております。ただ、感染の機会も増え、通常の診療にも支障が出るために、専属の対応という形にしております。問題としては、第1波は乗りきりましたが、今後、第2波が来た時に、精神的、肉体的な疲労を考えていかなければならないと考えております。そのあたりは精神科等とも連携しながら、ケア等も含めて診療を確立していきたいと考えております。</p> <p>手術用のディスポーザブルのガウンについては、入ってくる見込みはありません。そこで6月中頃から布製のガウンを購入しまして、再滅菌をして使用しています。第2波、第3波が来ても手術ができる体制を整えております。</p> <p>他にご質問・ご意見はありませんか。 北川委員。</p> <p>口腔外科と耳鼻咽喉科の手術処置については、通達により控えておられたと思います。今後は、手術の再開をされると思いますが、再開される際には処置室等の周囲で換気等に今まで以上に注意していただきたい。設備等も更新されているのでしょうか。</p> <p>今後、どのような形で再開するのか、口腔外科や耳鼻科で協議してまいりました。例えば、口腔外科でも処置をしたり、全身麻酔をかける際に、PCR検査を行うなど、防護対策などをやっていき、できる範囲のことを徹底してやっていこうと考えております。</p>
○林病院長	
○木下副院長	
○上野委員長	
○北川委員	
○赤塚副院長	

○上野委員長	他にご質問・ご意見はありませんか。 藤本委員。
○藤本委員	コロナ感染防止対策で、入院患者の面会が制限されていると思いますが、ひらかた病院の現状と今後どのようにされるつもりかお伺いします。
○白石副院長兼看護局長	面会は、現在においてもホームページ等で原則禁止としております。ただ短時間で1人だけで、玄関前での検温に加えて病棟でも検温を行いましての面会は、全くゼロではありませんでした。認知症の患者さんや緩和ケア病棟というところは、少しだけ緩めておりましたが、原則的には、厳密に対応してまいりました。ただ、これまでは小児科と産科病棟についても面会を禁止しておりましたが、先ほどの別の会議で、ガラス越しの面会を許可することになったところでございます。
○上野委員長	他にご質問・ご意見はありませんか。 特にないようですので、本件に対するご質問・ご意見はこの程度にとどめます。 続いて案件第3「その他」について何かありませんか。  (意見なし)
○上野委員長	以上で、本日の案件はすべて終了しました。これで本日の議事を終了します。閉会にあたり、病院長からご挨拶をお受けします。林病院長。
○林病院長	大阪府としては、第1波が過ぎましたが、全国的にはまだ不安定な状況です。このような中、本院までお集まりいただきまして誠にありがとうございました。 本院は、コロナ感染症の受け入れを積極的に行っておりまして、本日はお示しできませんでしたが、コロナの疑い、あるいは、陽性症例を含めまして、本院100名以上の入院患者を診療してまいりました。枚方市全体としては、20名を超える患者さんを診療しております。ただし、コロナ病院という風評もあり、受診控えもありまして、経営状況としては不安定な状況です。市や医師会や歯科医師会を含めまして、温かいご支援、ご寄付を頂きまして、院内感染を起こすことなく、第1波を何とか対応した状況です。 今後も院内感染を起こさず、本院の機能を維持して、公立病院



<p>○上野委員長</p>	<p>としての使命を全うできるよう努力する所存でございますので、今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。</p> <p>以上で、本日の会議を閉会します。長時間にわたり、お疲れ様でした。</p> <p>(以上)</p>
---------------	---